



心温まる6年生を送る会・お別れ遠足

先週金曜日(2日)は、6年生を送る会とお別れ遠足がありました。送る会は、卒業していく6年生に、在校生からの感謝の気持ちを表す会となりました。

はじめに全校遊びがあり、企画委員会と5年生とで「間違い探し」をしました。体育館のステージ上で、5年生が6年生の思い出ベスト3の場面を演じ(1位修学旅行、2位阿蘇宿泊教室、3位全校かくれんぼ)、動きが一旦ストップします。その様子を子供たちは10秒間で覚えなければなりません。幕が閉まり、幕が再び開くと、7つの間違いがあるというわけです。一つ一つの違いがとても楽しく、子供たちも夢中になって間違いを探していました。

そして、在校生からは、おめでとうメッセージを発表しました。1年生からは、「はるなつ あき ふゆ」の替え歌で「6年生を忘れない」とメッセージを込めて歌いました。2年生からは、6年生にちなんだ文字並べクイズと、6年生に送る歌でした。3年生からは、6年生の輝いていた瞬間ベスト3の発表と、「ジャンボリミッキー」のキレッキレのダンスの披露でした。4年生からは、ソーラン節や「アイドル」のダンスの披露があり、会場の空気を盛り上げました。そして5年生からは、Adoの「唱」に合わせてダンスの発表がありました。実は5年生は下級生みんなでダンスを踊りたいと、振り付けを動画で下級生に配信し、今回一緒に踊ることに成功したのです。このように、各学年工夫を凝らした発表で、どの学年も最高学年の6年生に「おめでとう」の思いを込めて、心温まるメッセージとなりました。そして、6年生からもありがとうメッセージのお返しがあり、「あたりまえ体操」を披露してくれました。学校生活の当たり前を歌と振り付けで表現し、「全校かくれんぼのとき 迷子の放送 気まずい」など振り付けと共に歌うと大盛り上がりでした。

送る会の中では、伝統の襷(たすき)渡しも行われました。この襷渡しは、卒業する6年生が、次年度のリーダーである5年生に、自分たちの思いを襷に託し、渡すというものです。「4つの心」を意識した4色の襷を6年生から5年生に渡しました。

この襷渡しの後に、企画委員会が6年生の各組にエールを送り、全員で「フレーフレー6年1組!」など声を合わせて、6年生に思いを込めて声を出し、学校全体が温かい心の交流を図ることができ、ハートフルな時間となりました。

その後、送別遠足に出発し、今年度は全校児童が錦ヶ丘公園に向かって歩きました。朝から雨が心配されましたが、遠足に合わせたかのようにお日様の暖かな支援を受け、公園では美味しいお弁当を頬張って、楽しく仲間と遊ぶことができました。

遠足から帰った後も子供たちは、帯西レンジャーのどの心が伸びたのかを互いに共有し、成長を味わっており、一つの行事が大きく子供たちを成長させていくことに手応えを感じました。

